

オホーツク海・日本海 4 月 魚探情報



—試験調査船「北洋丸」による海洋観測および魚群分布調査の結果—

道総研

2026 年 5 月 12 日

北海道立総合研究機構 稚内水産試験場

(担当：調査研究部 呂 0162-32-7166)

- ◎オホーツク海沿岸域の底層水温は 4~5℃台の水温帯が優占
- ◎日本海沿岸域の底層水温は 6~7℃台の水温帯が優占
- ◎オホーツク海沿岸域は 100~200m の海域にスケトウダラとみられる魚群反応が確認されたが、枝幸~紋別沖における反応量が前年より減少した
- ◎日本海では武蔵堆周辺や雄冬沖にスケトウダラとみられる濃い魚群反応が分布

1 調査概要

2026 年 4 月 14~24 日に稚内~積丹沖の日本海，稚内~網走沖のオホーツク海において，試験調査船北洋丸により，海洋観測および計量魚探を用いた魚群分布調査を実施しました。

2 水温観測の結果

調査海域における底層水温（海底上 5~10m，水深 400m 以深の海域は深度 400m の水温）の分布を図 1 に示します。今年 4 月の底層水温は，オホーツク海の沿岸域では宗谷暖流の流入により 4~5℃台，沖合域では 2℃台以下の海域が広がっており，前年（2025 年）より低い傾向がありました。日本海の沿岸海域は 6~7℃台の海域が広がっており，前年とほぼ同様の水温環境となっていました。

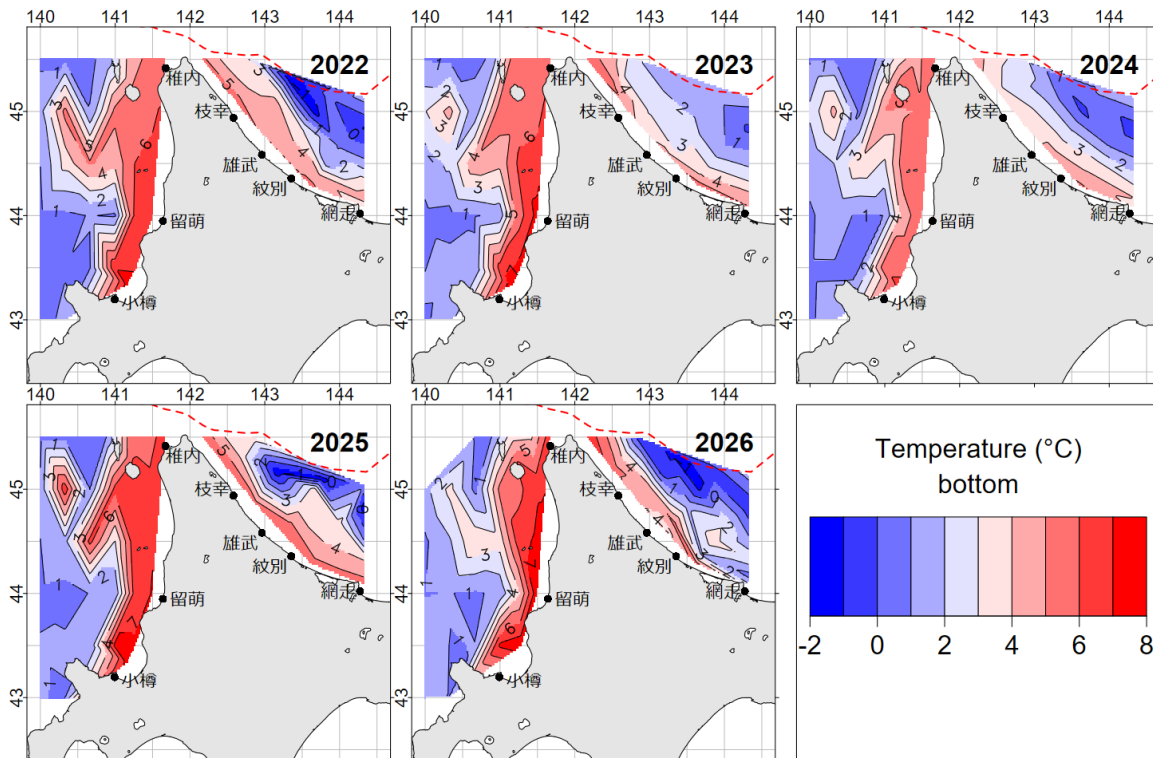


図 1. 北海道北部沿岸における底層水温（℃）の分布. 2022~2026 年 4 月.

3 魚群分布調査の結果（オホーツク海）

計量魚探で得られた 1 海里あたり魚群反応量の分布を図 2 に示します。魚探反応量では、枝幸～紋別沖においては前年より減少しましたが、その他の海域は前年と同程度となっていました。今年の調査では、宗谷岬東方沖から網走沖に至る水深 100～200m の広い範囲において、スケトウダラとみられる魚群反応が確認されました（図 3）。

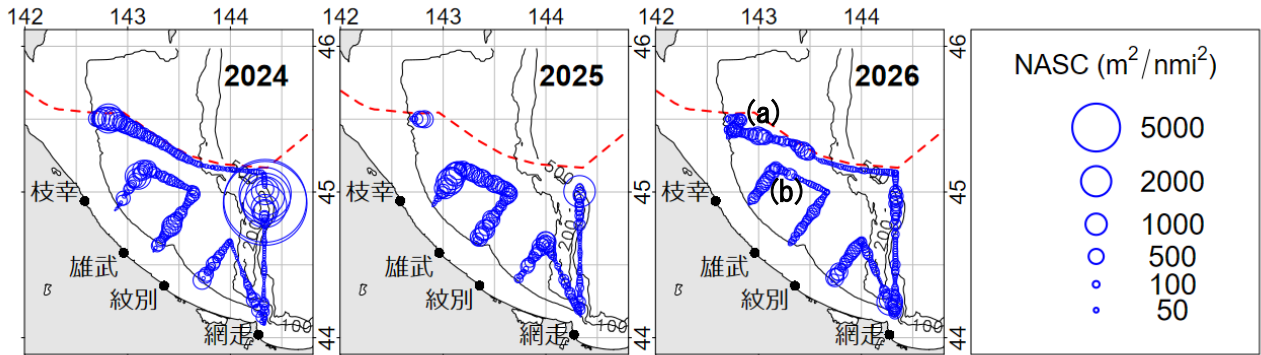


図 2. 北海道沿岸オホーツク海における魚群反応量 $NASC (m^2/nmi^2)$ の分布. 2024～2026 年 4 月.

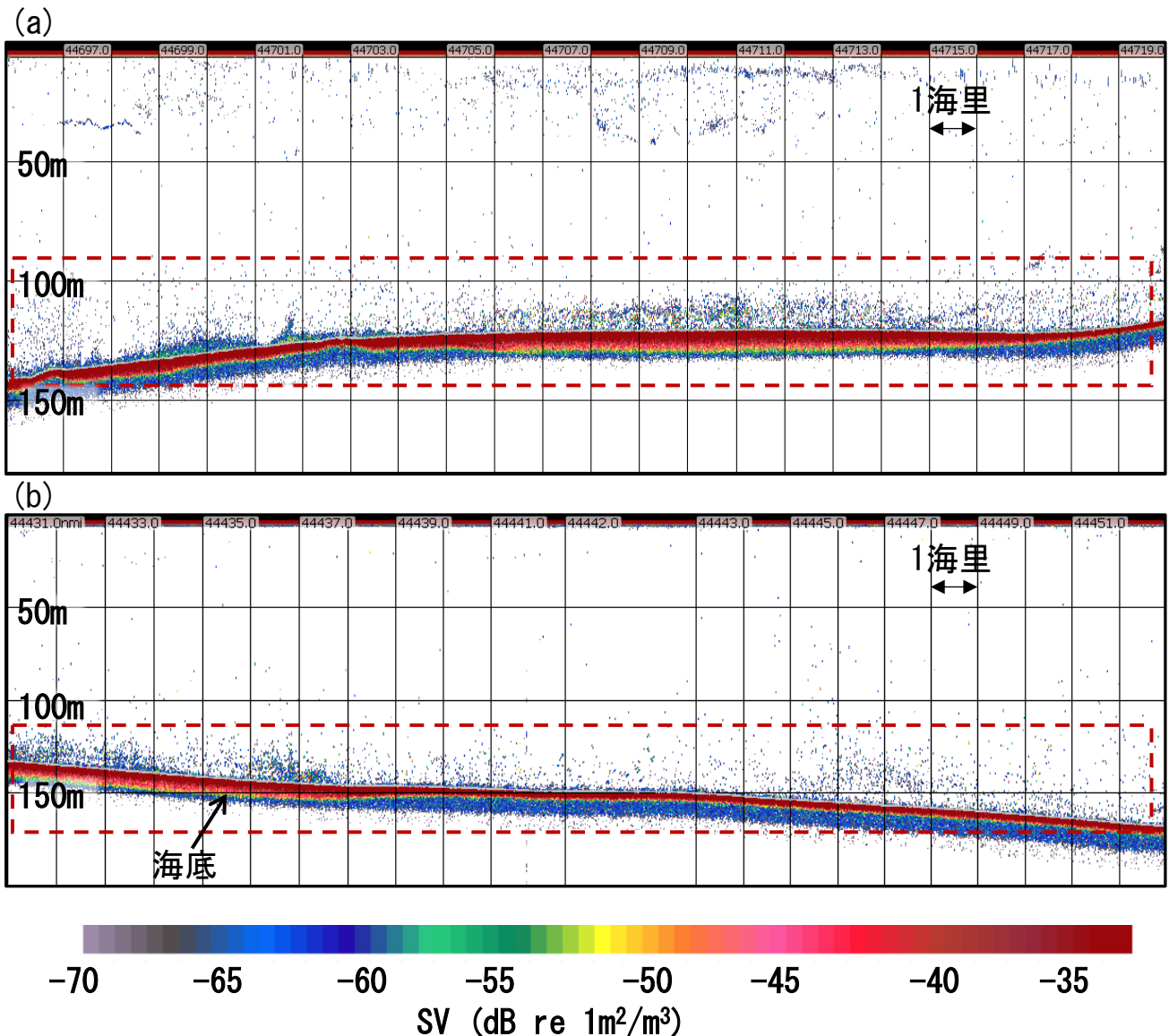


図 3. イース場 (a, 2026 年 4 月 24 日 05:30 頃) と枝幸～雄武沖 (b, 2026 年 4 月 22 日 23:00 頃) で観察された魚探反応 (赤破線枠内: スケトウダラ)。

4 魚群分布調査の結果（日本海）

計量魚探で得られた 1 海里あたり魚群反応量の分布を図 4 に示します。昨年調査と比較すると、武蔵堆東部や雄冬沖の魚探反応量は増加し、水深 100~200mの海底付近にスケトウダラとみられる魚群反応が確認されました（図 5）。また、余市沖でも、水深 200m以深にスケトウダラとみられる魚群反応が確認されましたが、反応量は前年より少なかったです。

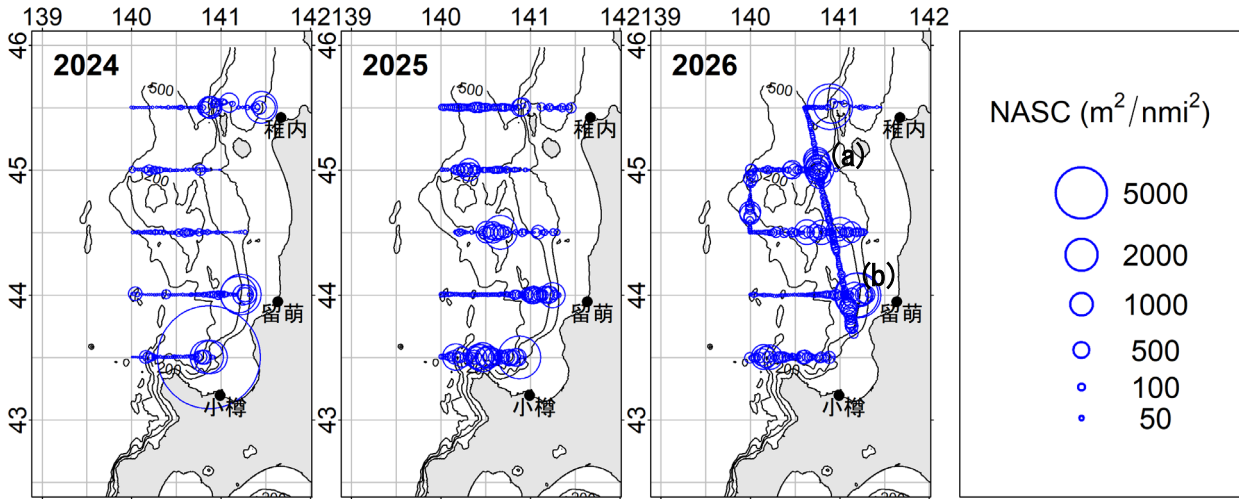


図 4. 北海道西部日本海における魚群反応量 $NASC (m^2/nmi^2)$ の分布. 2024~2026 年 4 月.

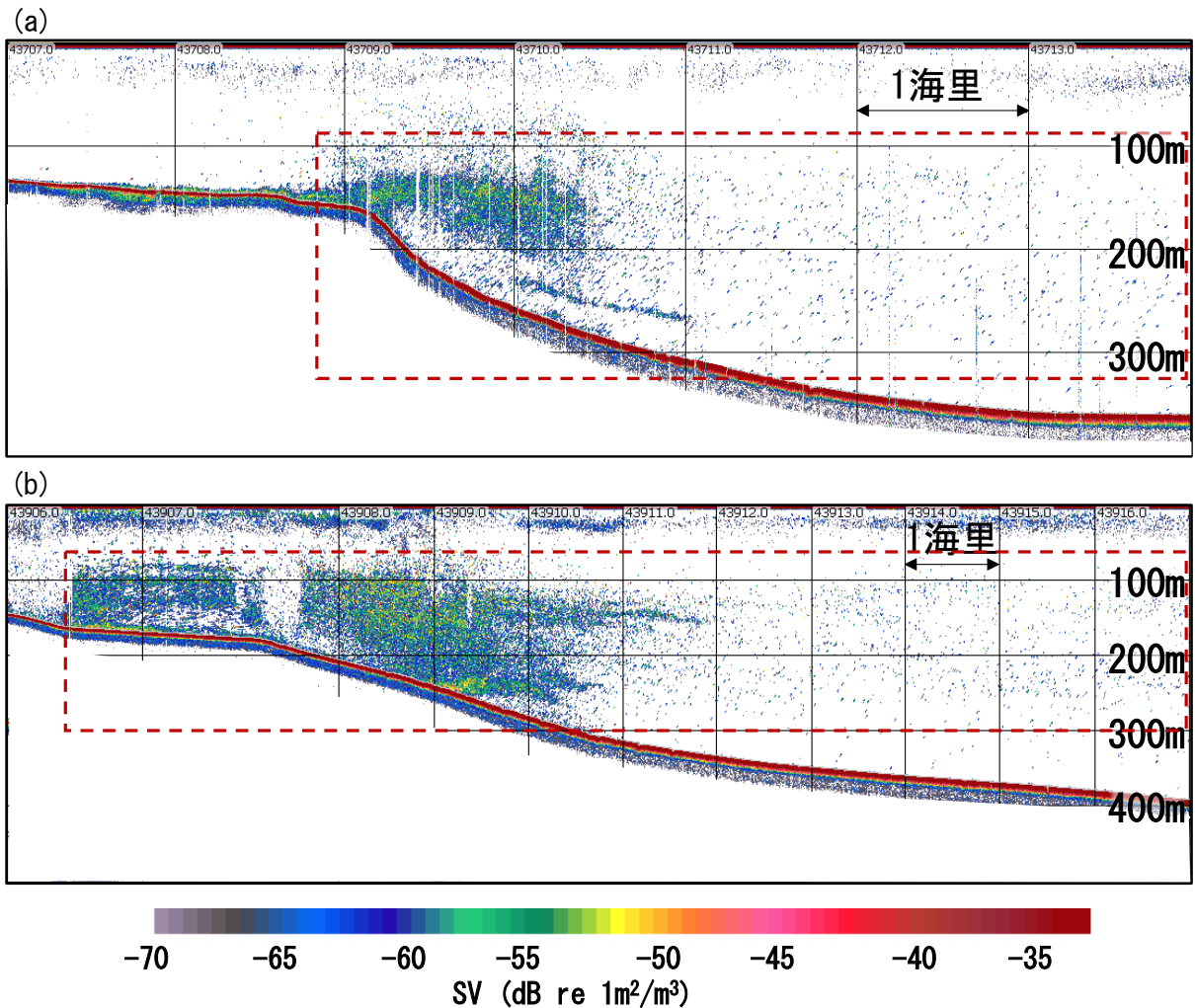


図 5. 武蔵堆東部 (a, 2026 年 4 月 14 日 22:00 頃) と雄冬沖 (b, 2026 年 4 月 15 日 20:00 頃) で観察された魚探反応 (赤破線枠内: スケトウダラ).